

1 成分形ウレタン樹脂系可とう性パテ材

# オートンアドハー3500

「目減りせず、長期に弾性を維持するノンブリードパテ」



外装仕様の指定材・推奨材に採用されている注目のパテ材です。

JAIA F☆☆☆☆

Point 1

ノンブリード

無可塑剤のため塗料を汚染しません。

Point 2

硬化収縮無し

硬化後の肉やせが殆どありません。

Point 3

微弾性タイプ

部材の変形に追従する、適度なゴム弾性。

Point 4

塗料密着性

仕上げ塗料に優れた密着性を発揮。

Point 5

速硬化性

硬化が速く、その日に塗料仕上げが可能。

「長期に安心出来る、理想的なパテ処理を実現」

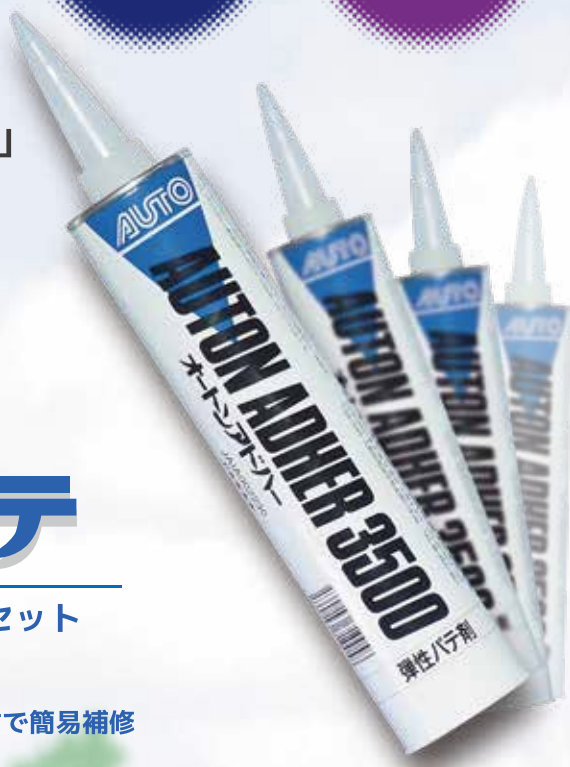
- サイディングやモルタルの亀裂補修に。
- ビス頭のパテ処理に。
- 足場つなぎの穴埋め処理に。

## オートンフラットパテ

簡易補修に便利な少量（170G）チューブセット

オートンアドハー 3500 と同性能のパテ材で簡易補修用の少量チューブセット品です。  
プライマー、刷毛、ノズルがセットされているので小面積・小規模補修に便利です。

オートンアドハー 3500 / オートンフラットパテは、外装の動きに追従する、可とう性を有したパテ材です。  
独自の特殊ウレタンポリマーにより、長期に初期性能を維持します。



オート化学工業株式会社  
AUTO CHEMICAL IND. CO., LTD.

# オートアドハ-3500 / オートフラットパテ

## 特長

### ①ノンブリードタイプ

塗料の汚染原因の一つである可塑剤類を含まない、「ノンブリードタイプ」。

### ②肉やせが少ない

肉やせが殆どないため、一般的な水系エマルジョンパテに比べ、よりフラットな仕上げが可能です。

### ③塗料付着性に優れています。

塗料との付着性が良く、多くの塗料に適応します。

### ④硬化性に優れています。

表面硬化が約40分(20℃)と速い為、工程の時間短縮に力を発揮します。

## 用途

コンクリート、モルタル、サイディングボードなどの外装材の割れや欠けの補修。ビス穴や足場つなぎの穴埋め、釘頭補充処理。

## 製品規格

試験項目	製品規格	試験方法
外観	均質な白色ペースト状	目視
密度	1.17±0.10	JIS K 6833 (比重カップ法・23℃)
不揮発分(%)	95以上	JIS K 6833 (90℃3hrs)
タックアライム(分)	60以内	JIS A 5758 (23℃50%RH)
最大引張応力(N/cm <sup>2</sup> )	100以上	JIS K 5758
最大荷重時の伸び(%)	80以上	
ホルムアルデヒド基準	F☆☆☆☆	日本接着剤工業会自主管理規定

## 形態

320mlカートリッジ10本/箱



(付属品)  
専用プライマー ×2缶、刷毛



170gアルミチューブセット  
(出荷単位：12セット/箱)



(付属品)  
専用プライマー、刷毛、ノズル、キャップ

## 施工方法

### パテ処理箇所の清掃と確認

パテ処理箇所の切り粉や塵、埃は十分に取り除いて下さい。また、油や水はウエスで拭き取り、乾燥させて下さい。

### 専用プライマーの塗布

付属の専用プライマーを塗布して下さい。プライマーの乾燥時間は、10~20分を目安にしてください。

### パテ材の充填

専用プライマーの乾燥を確認し、パテを充填して下さい。

### ヘラ仕上げ

空気を巻き込まないように仕上げして下さい。その際、プライマーを塗布しない部分にまで拡がらないように注意して下さい。

### 塗装仕上げ

表面が硬化していることを確認してから、塗装作業を行って下さい。

## 施工上の注意

- ・パテ処理する際、幅や深さが確保されていない場合、十分な接着力が得られない場合があります。
- ・接着面が濡れている場合は、接着不良が生じる可能性がありますので、十分に乾燥していることを確認してください。
- ・塗装は、パテ処理部分全体に行ってください。塗り残しや塗り斑は、経年後の外観劣化の原因となります。
- ・表面硬化は20℃で約40分、5℃で約120分を目安として下さい。ただし、環境条件により硬化時間が異なるため、塗装前には指触にて表面硬化を確認してください。
- ・水性塗料では、塗装前のパテ材の表面硬化が不十分な場合、塗膜割れが発生することがあります。塗膜割れが生じたときは、塗料が乾燥した後、再度塗装して下さい。
- ・専用プライマーを必ず塗布して下さい。プライマー未使用の場合は、接着不良の原因となります。
- ・開封後は、出来る限り一度に使い切ってください。

## 注意事項

- ・一液性のため、溶剤や他の材料と混ぜないで下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、速やかに拭き取り、石鹼水で洗って下さい。
- ・眼に入った場合、水でよく洗い流した後、必要に応じ医師の診断を受けて下さい。
- ・火気に近づけないで下さい。
- ・雨や湿気に注意し、直射日光を避け冷暗所に保管して下さい。
- ・アルコール成分を発生するシリコン系、変成シリコン系等の材料と同時使用は避けて下さい。
- ・詳細については、SDS(製品安全データシート)をご参照下さい。